

問い合わせ先

第七管区海上保安本部

海洋情報部海洋調査課長 梅 田 (※1)

交通部安全対策課長 宮 本 (※2)

代表：093-321-2931



令和元年6月10日

第七管区海上保安本部

海の安全推進室

りがんりゅう

山口県で離岸流調査を実施します！

～ 楽しく安全なマリンレジャーのために ～

第七管区海上保安本部では、これから海水浴シーズンを迎えるにあたり、遊泳中における事故原因の一つと言われている離岸流について、今後の事故防止対策の資料とするため、次の日時、場所において、海面着色剤を用いた離岸流調査を実施します。

1 日時

令和元年6月17日(月)

11時から13時の間1回調査実施

2 場所

山口県長門市二位ノ浜海水浴場(別添付図参照)

3 調査概要

調査対象海域において、波打ち際(幅約0.5kmの範囲)から「シーマーカー」と呼ばれる海面着色剤を散布し、沖に流れる様子を航空機及び海岸付近高台からそれぞれ写真及びビデオ撮影を行い、離岸流の有無、速度などを調査します。

※海面着色剤(シーマーカー)について

- ・茶色の粉末入浴剤のような物質で水に溶けると黄緑色になります。
- ・海面に投入した後、数時間程度で拡散します。
- ・人体等には無害で、漁業等への影響もありません。

4 調査結果の活用等

調査データを解析し、当庁のホームページに調査結果、動画等を掲載します。また、調査結果を踏まえて海水浴場管理者へ周知啓発を行うとともに、離岸流の危険性等に関するリーフレットを作成し、地元教育委員会を通じ若年層への周知啓発を行います。

なお、調査結果については、別途広報いたします。

5 その他

山口県二位ノ浜海水浴場は、鹿児島大学水産学部 西隆一郎教授（海岸環境工学 工学博士）立会いのもと実施する予定です。

なお、当日の天候模様や事件・事故の発生状況によっては、調査を中止することもあります。

6 取材について

現地での取材を希望される方は、お手数ですが「取材申込書」に必要事項をご記入の上6月13日（木）午後3時までに、第七管区海上保安本部広報・地域連携室（TEL 093-321-2931（内線 2117 又は 2118））まで連絡をお願いします。

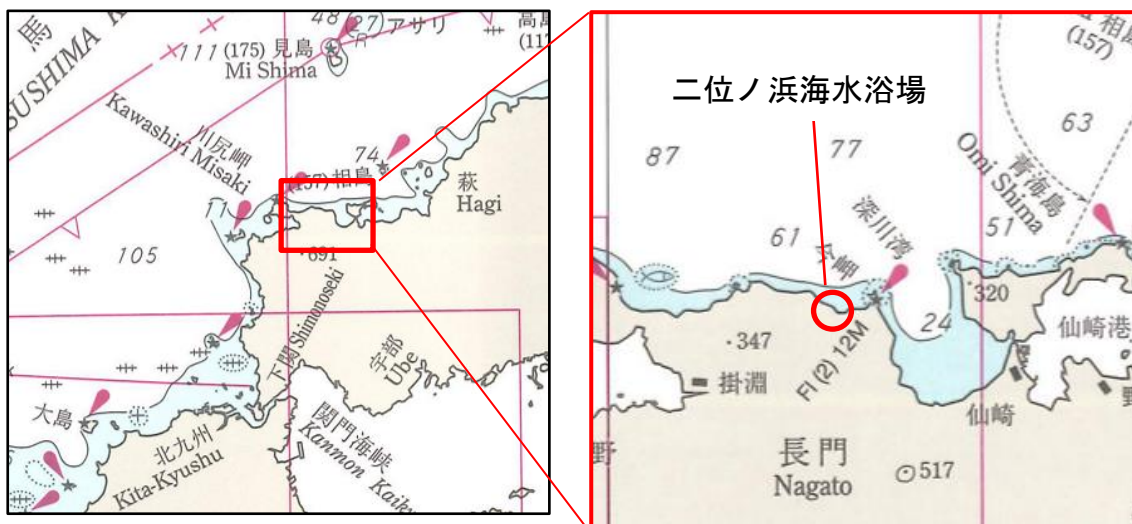
当日、現地での取材ができない方については、調査状況のビデオ、写真等の提供のみでも対応可能ですので、希望される方は事前に連絡をお願いします。

7 問い合わせについて

※1（内線 2530）【担当】離岸流のしくみ及び調査の方法

※2（内線 2640）【担当】離岸流事故防止対策

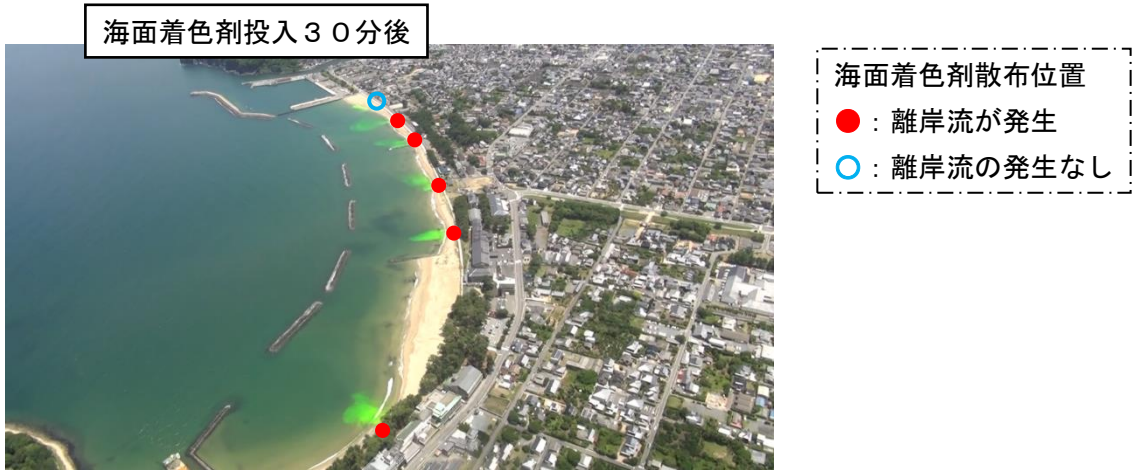
●調査区域図（二位ノ浜海水浴場：山口県長門市）



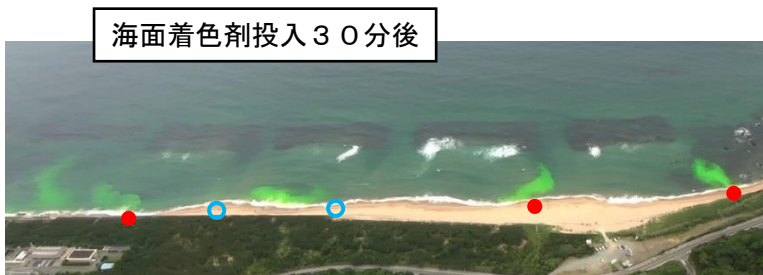
● 平成30年度調査時の状況

(海岸から散布した海面着色剤(シーマーカー)が沖に流れていく状況がわかります)

○ 菊ヶ浜海水浴場 (山口県萩市)



○ 鐘崎海水浴場 (福岡県宗像市)

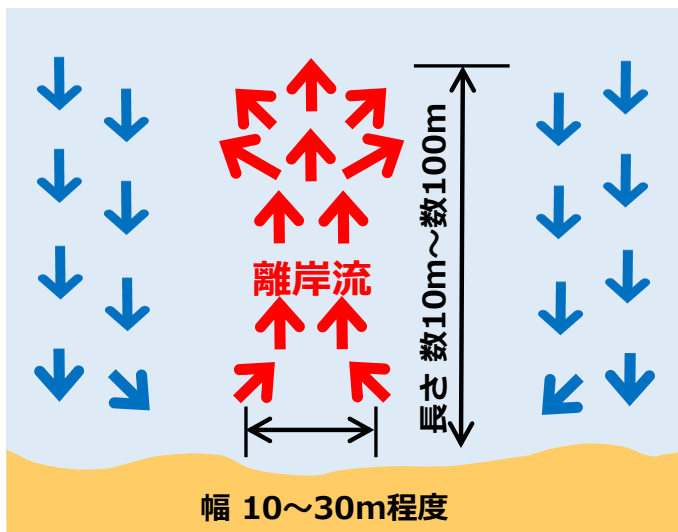


(当庁航空機により撮影)

◎ 離岸流とは・・・

波は沖から海岸へ打ち寄せますが、打ち寄せられた海水は、どこからか沖に戻ろうとします。この時に沖に向かって発生する強い流れを「離岸流」と呼びます。離岸流に流されると、どんどん沖まで流（毎秒2m/s）されてしまいます。

（毎秒2m/s：オリンピックの水泳自由形金メダルが泳ぐ速さと同じ）



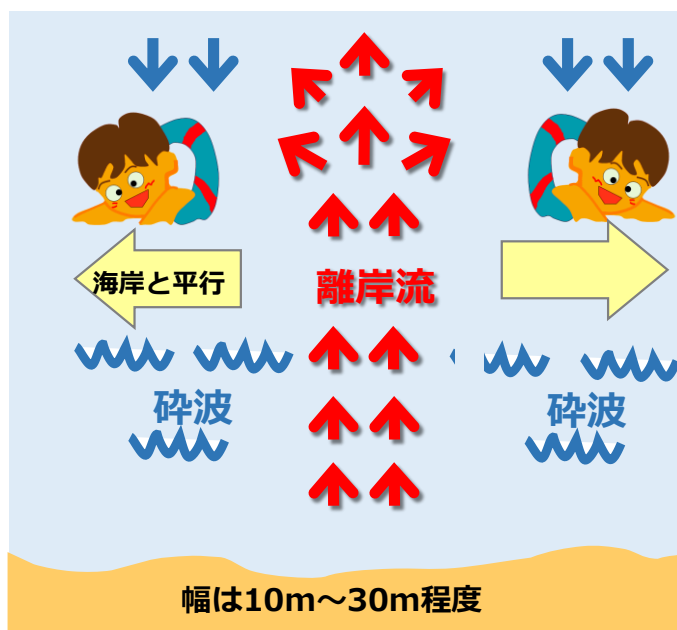
離岸流の発生規模

- 幅は10m～30m程度
- 沖への長さは数10m～数100m

離岸流の発生しやすいところ

- 海岸が外洋に面しているところ
- 遠浅で、海岸線が長いところ
- 波が海岸に対して直角に入る海岸
- 近くに人工構造物があるところ

沖に流されていると感じたら・・・



離岸流からの脱出方法

- 慌てず落ち着く
- 流れに逆らって岸に向かわず、海岸と平行に泳ぐ



取材申込締切

令和元年6月13日(木)

午後3時まで

第七管区海上保安本部
広報・地域連携室 へ
FAX : 093-321-6038
(TEL : 093-321-2931)

取材申込書

【第七管区海上保安本部「山口県二位ノ浜海水浴場離岸流調査」】

報道機関名 : _____ (名)

取材者氏名	連絡先 (携帯電話等)	備考
【代表者】		

※複数の場合は、全員分の氏名を記載願います。

- 当日、現地での取材ができない方については、調査状況のビデオ、写真等の提供のみでも対応可能ですので、希望される方は事前にご連絡ください。